

2021 夏季闘争

新型コロナ対策強化 会計年度任用職員制度の 改善で前進

夏の要求交渉は、衛都連統一交渉を終え、今後、大阪府・大阪市の交渉が予定されています。交渉では新型コロナウイルス対策強化をはじめ、会計年度任用職員の処遇改善



いのち・暮らしを守り、処遇改善を要求

や職員体制拡充など切実な要求を掲げています。新型コロナウイルス対策では、「飛沫感染防止の亚克力板を各職場、食堂、職員会館に設置」、「サーマルカメラ28台設置」、「PCR検査センター誘致、一人9回無料で行う」など、職員の安全確保や、住民の感染対策についての回答が示されています。会計年度任用職員の処遇改善では、「短期介護休暇（年5日）」、「夏季休暇を増やす」、「人間ドック補助を正規職員と同等に行う」、「慶弔休暇を創設」、「出産補助休暇を創設」など、前進回答を勝ち取っています。定年引き上げについても問題点を指摘し、当局の姿勢を問いました。労使協議を行い、労使合意で実施することなどを確認しています。引き続き、秋季年末闘争に向けて奮闘していきます。

2021 春の組織拡大月間

新採グッズを持って職場へ オンラインの活用でつながる

「春の組織拡大月間」も6月末まで。今年もコロナ禍で、新採歓迎会や組合説明会を例年のように行うことができません。新規採用者もいつもより早く職場配属されています。そんな中でも、オンラインを活用した学習会や説明会を行い、職場組合員の協力も得ながら新しい仲間を連日迎えています。

堺病院労組が作成した新採パンフ

守口市学童保育指導員労組に対する不当労働行為

団交拒否

中労委の命令が 確定

（株）共立メンテナンスは
誠実に命令の履行を！

（株）共立メンテナンスが大阪府労働委員会の救済命令を不服とし、中央労働委員会に再審査を申し立てたことについて、4月26日に中労委はこの申し立てを棄却する命令を下しました。その後、（株）共立メンテナンスが命令の取消し訴訟を断念したことから、府労働命令が確定しました。

団体交渉に応じることや、謝罪文を事業所に掲示（ポストノーチス）するなど、命令の履行を誠実にすることが求められています。5月27日には（株）共立メンテナンス本社（東京）に要請書を提出し、指導員の雇い止め事件をただちに解決することを求めました。



要請書を受け取った社員に、改めて命令を履行し団交など誠実な対応を求める守口市学童保育指導員労組の水野執行委員長（中央）

必要生計費調査を成功させ

生計費実態に基づいた 賃金闘争につなげよう

大阪自治労連は、4月18日に「必要生計費試算調査スタート集会」を開催しました。この間、全国で生計費調査活動を進めてきた静岡県立大学短期大学の中澤秀一さんを講師に生計費調査の概要と意義について学習し、6月末までの目標回収をめざしてスタートしました。標準生計費は、最低賃金や公契約の限度額設定、また人事院勧告の基礎、さらには社会保障にも関わる資料として使われています。ただ実態からはかけ離れ、低く抑えられています。今回の必要生計費

調査は、その矛盾を科学的に明らかにしていくための調査となります。いま大阪の労働者が一丸となって、この調査を成功させ、今後の賃金改善闘争につなげていこうと奮闘しています。コロナ禍の下ですが、各職場で取り組んで、今後の賃金闘争の重要な資料として活用しましょう。また、社会を動かす取り組みをしていくために、多くの組合員をはじめ自治体に働く労働者、つながりのある労働者に働きかけ、成功させましょう。

今月のキーワード

ポストノーチス

不当労働行為について労働委員会が発する付加的救済命令です。本来の救済内容を記した命令書または労働委員会が命じる趣旨の文章（不当労働行為の事実を認め、かつ今後そのような行為をしないと意を述べた陳謝文の内容）を労働委員会の指定する場所に掲示するよう使用者に命じることです。

今月のキーワード

サーマルカメラ

サーマル（thermal：熱）という名のとおり、熱を検知するカメラです。サーマルカメラは対象物の遠赤外線エネルギーを可視化し、映像モニター上に表示するカメラです。光の有無に関係なく暗闇でも撮影が可能です。非接触かつカメラに捉えた体表面温度を感知できるため、発熱者を検出しパンデミックに対する水際対策にも活用されています。